

本年度の学校評価

<p>本年度の重点目標</p>	<p>(1) ニーズに応じた教育内容の充実                  (2) キャリア教育の充実                  (3) 視覚障害教育の専門性の向上                  (4) 相談体制の充実                  (5) 関係機関との連携                  (6) 防犯・防災計画の整備                  (7) 勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止</p>		
<p>担当</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>留意事項</p>
<p>幼稚園部</p>	<p>自立に向けた食事指導の実践</p>	<p>・実態把握及び指導方法の検討を継続的に行い、指導者間で共通理解を図りながら進める。</p>	<p>・発達段階に即した食事指導の基本を踏まえ、食具や食器の扱い方や偏食等の個別の実態に配慮する。</p>
<p>小学部</p>	<p>新学習指導要領の本格実施に向けた視覚障害教育の専門性を基盤とした授業の実践</p>	<p>・児童が外国語や外国語活動を学習するにあたり、問題点や課題を提起し、実態に即した授業の在り方を話し合ったり、教材づくりをしたりする。</p>	<p>・授業に直結する実践的で具体的な教材の準備と指導者間での共通理解を図る。</p>
		<p>・多様で、重複障害のある児童一人一人のニーズに合った学習内容及び学習集団を実践しながら検討する。</p>	<p>・定期的に、実践と評価を行い、指導者間で共通理解を図りながら進める。</p>
<p>中学部</p>	<p>・社会自立を目指した学習指導、進路指導の充実</p>	<p>・生徒一人一人の実態や障害の状況に応じた指導方法を工夫し、自己学習力を高める授業を目指す。</p>	<p>・学習内容や評価方法等の検討を行い、指導者間の連携を深め、生徒への一貫した指導ができるようにする。</p>
		<p>・生徒一人一人の実態を踏まえ、社会自立を目指した自立活動や作業学習等の時間を展開する。</p>	<p>・補助具の扱いや学習方法等のスキルを身に付け、生活に活用できるようにする。また、生徒の実態に合わせた作業学習や校内実習の内容を検討し、充実させる。                  ・生徒の実態に合わせた作業学習や実習の内容を充実させる。</p>
	<p>・生徒が主体的に取り組み、積極的に参加できる学習活動の展開</p>	<p>・行事の計画や準備等をとおして生き生きと活動ができるように支援する。</p>	<p>・生徒会活動や各行事に向けての学習において、生徒自身で考え、意見を出し合い、お互いに協力できる場面を多く設けるようにする。</p>
<p>高等部</p>	<p>・個別の教育支援計画に基づいたキャリア教育の充実</p>	<p>・個々の教育課程や本人・保護者のニーズに応じた体験活動及び実習等を通して、キャリア教育の推進を図る。</p>	<p>・それぞれの教育課程において学習指導要領に照らし合わせ、必要な時期に必要な体験活動や実習を行うことで、キャリア教育の実現を図る。</p>
	<p>・各学科における進路指導の充実</p>	<p>・産業現場等における実習や治療実習について、部会や科会で情報提供を行うことで、高等部全体での共通理解を図り、適切な運用を行う。</p>	<p>・進路指導部を中心として、保護者、本人のニーズに応じた実習や体験活動に、部全体の共通理解の基に取り組み、進路指導の充実を目指す。</p>
<p>教務部</p>	<p>・指導案における観点別評価基準の記載の見直し</p>	<p>・新学習指導要領の目標に照らした指導案の観点別評価基準を検討する。</p>	<p>・学力の3つの要素と観点を整理する。                  ・学習評価を通じて、個に応じた指導の充実を図るなど指導と評価の一体化を図る。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸帳簿のデータ化を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知表や出席簿等のデータ化を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なデータを網羅し、省力化できるようにする。</li> <li>・紛失や改ざん等ができないように工夫する。</li> </ul>
ICT支援部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書週間（年2回）の計画、希望図書の購入を行い、読書に親しむ時期と環境を整える。</li> <li>・デイジー再生アプリとサピエの活用方法の講習会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の計画を示し読書週間を周知する。</li> <li>・デイジー再生アプリの入ったタブレット端末を増やし、実際に操作できる環境を整える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末の利用推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UDブラウザ（アプリ）の授業貸し出しを計画的に行う。使用者数に適したICT機器の購入計画を立てる。</li> <li>・タブレット端末の授業実践事例を紹介し、有用なアプリの使用を推進し、新たな事例を収集する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な教科担当の教員数をもとに必要なタブレット端末の数を計画する。</li> <li>・他校の実践事例も参考に。実践事例をまとめる様式を作成する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ADL指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ADLの指導チェックリスト」を整理し、全校職員が活用できるような形にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度中に校内の職員から集めた意見を整理し、自立活動部と寮務部で連携しながら、一般就労・進学を目指す児童生徒に活用できるようなリストを作成する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外との連携支援体制を整えることで、児童生徒の個に応じた進路支援の強化を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後の進路に具体的なイメージを持ち、各段階での課題に計画的に取り組めるよう、進路に関する情報が効果的にニーズのある児童生徒及び保護者に伝わる方法を検討・実施する。</li> <li>・個々の児童・生徒及び保護者のニーズに基づき、進路開拓、校外での啓発を行う。</li> <li>・在校生の進路指導支援と卒業生のフォローアップのための現状把握を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部の学部だよりや昇降口掲示板などを活用し、情報の周知と感心を持ってもらえるように方法を検討・実施する。</li> <li>・進路希望調査を実施し、個々の進路希望に関する情報提供に努めるとともに、企業への進路開拓、職場実習及び見学、進学・就職相談を実施する。</li> <li>・就職先及び進学先における卒業生・修了生の状況を把握するとともに、在校生の進路指導においてそれらの情報を活用する。</li> </ul>
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題行動やいじめ等の早期発見、早期対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児児童生徒の生徒指導上の問題点について職員間で共通理解を図る。</li> <li>・「こころとからだのアンケート」を実施し、いじめ等の早期発見に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部の課題や問題点を必要に応じて生徒指導部で共有し、早期対応を進める。</li> <li>・生活指導委員会やいじめ・不登校対策委員会で個別の問題について検討する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯・防災への意識向上と整備の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練や日々の防災教育を通して防災に対する意識を高める。</li> <li>・職員の防犯・防災への意識向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震や火災を想定した避難訓練の中で避難経路の確認、適切な行動を確認する。</li> <li>・防犯・防災の研修を通して職員の危機管理意識の向上を図る。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化する犯罪に対し、防災への大切さを知り、意識向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者情報の該当地域の生徒、保護者への周知を徹底する。</li> <li>・SNS やネットの危険性を保護者会等で知らせる。</li> </ul>
保健体育部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で衛生的な学習環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の管理を確実にを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おむつの廃棄処理を適切かつ確実にを行う。</li> <li>・牛乳の廃棄を適切かつ確実にを行う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に配慮を要する幼児児童生徒の学校内における対応の整備及び実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会において対応を検討し、実施する。</li> <li>・感染症の拡大防止に向けた意識の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員会で個々に応じた対応を検討し、適切に実施できるようにする。</li> <li>・日常的な連絡や現職研修を通して対応を再確認し、適切に対応できるように周知徹底する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な給食の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児児童生徒職員の食への安全意識の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装などの基本的な運搬や配膳時の注意事項に加え、アレルギーに対応した運搬や配膳が確実にできるよう幼児児童生徒職員に周知する。</li> <li>・毎日の健康調査に配膳の可否の調査を加える。</li> </ul>
広報・渉外部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要覧等の外部向け情報の内容を更新し、充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校要覧の古い写真や情報を差し替えるなど、内容の検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の分掌との連携・情報交換を行いながら情報発信を行う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA委員会活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA委員会の組織に合わせた活動内容を見直し、多数の参加が臨める活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの委員会が担当する活動を見直し、委員会内で役割分担をして、昨年度の反省を活かした活動を計画していく。</li> </ul>
地域支援部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期教育相談の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚部体験や個別相談などの相談体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼小学部全体に相談日などを周知し、部全体で協力体制が図られるような工夫をする。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児教育相談パンフレットを作成したり、教育相談の内容をホームページに掲載したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害のある乳幼児をもつ保護者が盲学校の教育相談を知る機会を増やす工夫をする。</li> </ul>
研修部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した現職研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に現職研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部別研究や全校研修を計画的に実施し、職員間で指導上の問題点を共有するとともに専門性の向上を図る。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新転任者講習、夏季休業中の研修講座を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新転任者講習や夏季休業中の研修講座では、職員が講師となり、校内での専門性の維持継承を促す。</li> </ul>
寮務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄宿舎生活支援の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい「ADLチェックリスト」を用いて課題を把握し、舎生の実態に応じた個別の生活支援計画を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より実践的な内容にできるよう、自立活動部と連携を図る。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修を通じて、生活指導の専門性向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内外の研修に積極的に参加し、他職員にフィードバックする</li> </ul>

			機会を設ける。
	・舎生指導・相談体制の充実	・定期的に舎生の情報交換を図るとともに、必要に応じて事例検討会を開催する。	・各校務分掌や担任と連携を図り情報共有をする。
理療部	・理療分野における就職先の拡充	・卒業学年の生徒はもちろん、2年生の就職希望をも踏まえて、企業や事業所の情報を収集し、多様な方法で理療師を雇用することの有効性を伝えていく。	・企業や事業所が求めている情報を、文書、電話、訪問などの手段を用いて伝え、本校生徒の知識や技能についても深い理解を得られるようにする。
学校関係者評価を実施する主な項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の充実</li> <li>・相談体制の充実</li> <li>・勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止</li> </ul>	